

展示会&セミナーでリアルに最新情報を得る

各業界で様々な展示会&セミナーが主要都市で年中開催されています。

私は松下電工の営業時代からこういうところに情報収集としてよく出かけていました。高齢者住宅・介護業界で仕事をするようになってからも、介護関連の展示会&セミナーに必ずと言っていいほど行っています。

主な展示会だけでもメディカルジャパン展、バリアフリー展、ケアテックス展、住まい×介護×医療展、国際福祉機器展等々、最新の商品やシステム、情報、そして仕事上の考え方ややり方、気持ちの持ち方など旬のセミナーが聞け、あらゆる仕事の場面で役立っています。

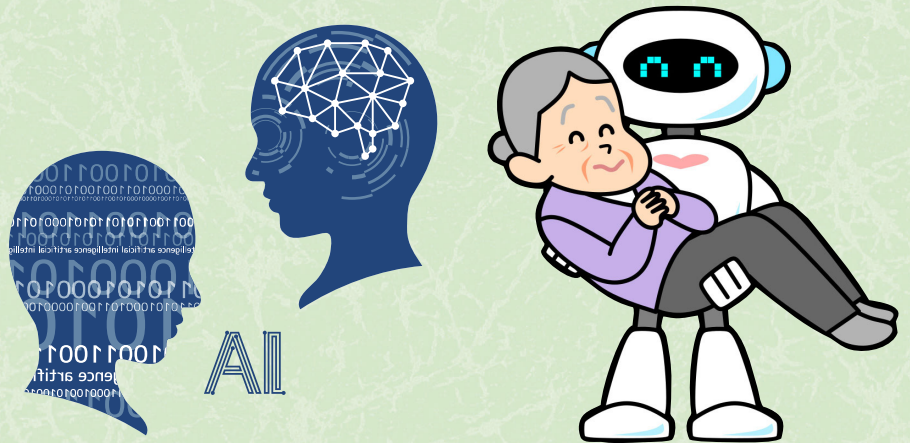
又業種は違っても参考になる他業種の展示会・セミナーにも参加し、ビジネス手法、マーケティング、広告宣伝手法など学ぶことが多々あります。

展示会出展社も最新の技術や商品、情報を工夫して展示・説明しており、セミナーでもその道の専門家から新しい話や現在トレンドの情報が聞け、大変勉強になり、私自身は毎年各種展示会やセミナーに20回以上参加しています。

昨今では多くの情報がネット上に掲載されていますので、各社のメルマガ、Facebook、Line、YouTube等で見られる方も多いと思います。それはそれで浅く広く物事を知ることはできますが、一方通行ですぐに質問できないし相談できない、又、商品系は映像なので、自分の眼で本物を見られないことから、大きさ感、手触り感、質感、色調など、もうひとつ感覚が分かりにくく、なかなか印象に残りづらいということもあります。リアルで物事を見る、リアルで見たものをきちんと他人に伝えるという本物感覚が薄れていくような気がしています。

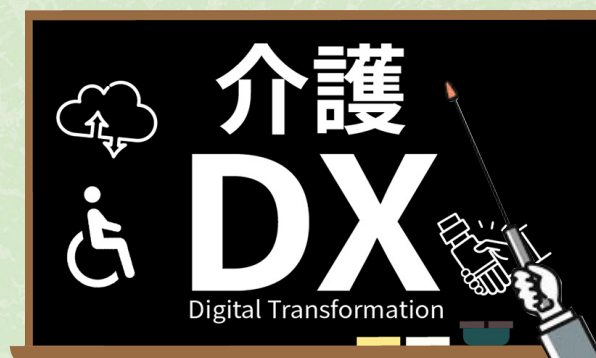
またコロナ以降、どの展示会もこじんまりとして、規模は小さくなっていますが、様々な展示会は増えてきているように思います。

展示会の中身は、多元化の時代(社会のあり方や、それに対する考え方など細分化される)、ダイバーシティ(多様性)の時代、人手不足の時代、AI(人口知能)やロボット・DX等が入った働き方改革の時代となってきましたので、各社とも、それに沿って様々な商品やシステムを開発、表現しているように思います。



これからは、①グローバル(海外・シニア)な人材をマネジメントする力、②変化に対応する力、新しい商品・システムを採用に向けて見極める力・チャレンジする力・使いこなす力、③経営・運営を向上させる力・継続させる力、後進を育てる力、④教育・研修で個の力・チーム力を向上させる力が求められていますので、営業・企画に携わる方、人事や事務方、製造、研究に携わる方は、こういう場所に出かけて、情報収集をして取り入れていってはいかがでしょうか。

特に管理職はもとより、リーダー層に参加の背中押しをし、新しい商品、新しい情報、新しい仕事の仕方などを、自分の目で見て、自分の仕事に取り入れていくように勧めていかれてはと思っています。



長嶺 堅二郎

